ちょっと待って、誤解してない!? ACP

一回話し合えばそれでいいのでは？
何度も話し合う必要があるの？？

変化していく状況に応じて、繰り返しあなたの思いや希望を考え、それに沿った医療や介護を決めることが大切です。また、話し合いを重ねていくことで、あなたの人生観や価値観を理解・共有している人が周りに生まれてきます。そうなれば、もし、あなたが意思表示の難しい状況になっても、周りの人たちが、あなたの思いや考えを大切にして、それに沿った医療や介護を決めることができます。

家族に伝えておくだけでいい？？

実際に受けたい医療や介護について検討する際には、あなたの人生観や価値観、希望と、病気の原因や病状などを踏まえて考える必要があります。特に、治療について決める際には、かかりつけ医や病院の主治医、看護師などから説明を受け、一緒に考えていくことが大切です。

終活、エンディングノート、
ＡＣＰの違いって何？

一般的に「終活」は、人生の最期を迎えるための準備として、自分の老後や亡くなったときに備え、お葬式やお墓、遺言、相続などについて決める一連の取組を指すことが多いようです。また、そうした事柄に関する希望を書き留め、残しておくためのノートのことは「エンディングノート」などの名称で呼ばれています。

一方で「ＡＣＰ」は、「自分が大切にしていることは何か」「自分はどう生きたいか」など、自分の価値観や生き方、これからの過ごし方のほか、最期が近づいてきたときの医療や介護のことなどを含めて、自ら考え、家族や大切な人と繰り返し話し合うプロセスのことを指します。

そうしたプロセスを重ねながら、家族や大切な人、医療・ケアチームとあなたの思いや考えを共有することを大切にしている点が、ＡＣＰの特徴です。

ちょっと待って、誤解してない!? ACP

亡くなる間際の治療について
決めておくだけでいい？

亡くなる間際の治療について決めることも大切ですが、それだけが目的ではありません。その考えに至るまでのあなたの考え方や思いが重要です。
その過程を信頼できる人と十分に共有していれば、予想外のことにより、あなたが意思表示をできない状況になったとしても、あなたの考えに沿った医療や介護を受けられる可能性が高くなります。

治療については主治医に任せておけばいい？

あなたにとって最適な治療を選択するためには、あなたの価値観を大切に、主体性を持って医療者と一緒に考え話し合うことが大切です。自分で決めていいのです。
もし、治療に少しでも不安や疑問を持ったときや、難しくてわからないと思ったときには、医師や看護師に何度でも相談してみましょう。

医療や介護の希望について、
一度決めたら変えられない？

「考えや気持ちが変わること」はよくあることです。その都度、家族や大切な人、医療・介護関係者と話し合い共有しましょう。
あなたの希望を医療・介護関係者に伝えた後でも、いつでも訂正をすることはできます。病状や症状が変化したときなど定期的に考えを整理し直し、主治医や家族と話し合うことが大切です。